



樹妙だより

No.196 2022/6.7



入学式・登校風景（2022年4月9日撮影）

慈悲喜捨

私は、運動部の顧問をしていた時に、鹿児島県の高校で合宿練習をしたことがあります。その時に、お世話になった高校の先生から、鹿児島の夏は「六月灯（ろくがつどう）」から始まるという話を聞きました。聞き慣れない言葉でしたが、鹿児島弁で「ロググドー」と言っていました。そして、六月灯は、薩摩藩主であった島津光久公が、新昌院の観音堂を再建した時に沿道に灯籠を置いて明かりとしたのを見た村の人々が、それに倣って灯籠を寄進したことから始まったという話を聞きました。

全国各地では「灯籠流し」が有名ですが、私が見せていただいた六月灯の灯籠は、神輿のような大きさで、企業の名前やイラストなどが入っていて、さまざまな絵や文字が描かれた和紙が貼り付けられていました。合宿先の先生によると、灯籠は、夜になると絵や文字が蠟燭の淡い光によって映し出されるので、参道に並んだ灯籠を眺めるのも六月灯の楽しみの一つになっているということでした。また、六月灯の

中でも、照国神社が一番大規模で、開催時の参道や境内は、たくさんの家族連れや若者で溢れかえるということでした。

六月灯は、鹿児島県の人々に愛されているお祭りで、島津公の「民を思う志」が人々の心に今も深く残っているということなのでしょう。

現在、世界中が新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、学校も行事や部活動が以前のようにできない状態です。様々な制約の中で生活しながら、私は恩師の言葉を時々思い出します。それは、「人生、どうにもしようのない時は、騒がず、動かず、来る時に備えることが賢明」という言葉です。

草木は、厳しい冬にじっと耐えながら芽を育て、春になると生き活きと咲き開かせます。私たちもその姿に倣い、新型コロナウイルス感染症が落ち着く時に備えて、今できることを考え、真摯な姿で取り組んでいきたいと思います。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

私が懇意にしている電気屋さんに松下幸之助さんが書いた「素直」の色紙が掲げてあります。

こだわりのない優しい字があります。周りに豊かな風を吹かせているような感じがします。

経営の神様松下幸之助さんは素直を人間の最も大切な素養の一つにしています。

囲碁も1万回打てば初段になれる。素直な心も素直な心になりたいと朝夕心に思い、たえず日常の行いにとらわれた態度がなかったかを反省する。これを1万回、約30年続けたならば「素直」の初段に到達できる。

そうなれば過ちなき判断や行動が出来る。

たしかこんな事を松下さんは書かれておりました。それにしても素直の初段の発想には驚きます。

松下さんのとらえ方とは違うかもしれませんが、学校においても素直な生徒の方が学力その他の伸び率が大きいことを実感しております。

素直であればいろいろ吸収できる。すると成長できる。モチベーションが上がり心のゆとりが生まれる。さらに素直になれる。

これは「喜びの循環」です。素直な心には力があると思えてなりません。

でも素直になることは簡単ではありませんね。こんな話をご紹介します。

初任給をもらった信用金庫に勤めているお嬢さんが、ホテルで両親にご馳走をしたそうです。セメント工場で働いていて、いつもは作業服のお父さんが、初めてブレザーを着てきてくれたそうです。

嬉しい気持ちで座席について、メニューを見せながら「お父さん、今日は、初任給でご馳走するから、好きなものを食べてね」と言う。「晩ご飯1回くらいじゃ。18年分は取り返せないからな」と言うのだそうです。

この言葉でお嬢さんの感謝の気持ちが一変してしまい、すぐにでも帰りたくなってしまいましたが、私の初めてのお給料、お母さんにだけでも喜んでもらいたいと思い直したそうです。

ビールが出て来るとお父さんは「お前、ビールくらい注いでくれないのか」と言ったのだそうです。お嬢さんはお父さんに腹を立てていた

らしく思ったときに、コップを持っているお父さんの手がふと目に入ったそうです。

その手は筋目にセメントの砂がめり込んだ荒くれた手でした。きれいに洗っても、それでも落とせないセメントの染みこんだ父の手を見たその瞬間「しかたない親父だな」という思いで一杯になり、何故かお父さんの話が素直に聞けるようになったそうです。

家に帰って、お風呂に入ろうと両親の部屋の前を通ると、母親が一生懸命「お父さん、今日はおいしかったね」と何度も言っているのが聞こえたそうです。母親は父親に娘に対して「ありがとう」と言わせたかったのです。すると「わかったような口聞くな」と父親が言いました。「だってそうでしょう。おいしかったって一言でも言ってやれば、あの子だって気持ちがおさまったのに。何よ！食事中もずっと腕組んで天井向いて。何が面白いんだって顔して、そんな態度ないでしょう」

「何もしらんとわかったようなこと言うな。男の気持ちなど分かってたまるか」とケンカが始まってしまいました。

「腕を組んで、天井を向いていたのは、下を向いたら、涙がこぼれてしまうからじゃないか。お前等に男の気持ちが分かるかバカが」

そういった後、ぽつんと父親が言ったそうです。「俺も、今までにあんなに美味しいご飯食べたことがなかった」

『すべては 今のために あったこと』

中山靖雄著

本当のお話、長いので私が少し手を入れてあります。

素直とは流れる水のように自由だと思えます。

丸い器があれば丸くなり、四角い器があれば四角になります。本質はまったく変わらず悠々としている。

必要があれば水車を動かし、つねに進路を求めて進む、自ら浄く他の汚れを洗い、障害に遭えば力を何倍にもする・・・

どのような環境に置かれても、決して自分を失わずかつ融通無碍に対応できる自由さ。

この年になった私でも未だに素直さに憧れております。

次の世代を生きる若者たちには水のようにおらかな人生を歩んでほしいものです。

合掌

令和4年度

学校教育方針

1 本校の教育目標

- (1) 「共生（ともいき）」という仏教の教えを基にして、自他を尊重し、多様性を認めるとともに、生かされていることに感謝し、自ら進んで社会に貢献しようとする豊かな心（慈悲心）を涵養する。
- (2) 社会や生活における課題を自分のこととして引きつけて捉えるとともに、自分の人生を自分の力で切り拓いていく、智慧のある「自主独立」の人材を育成する。
- (3) 希望する進路目標を実現できる確かな学力を獲得するとともに、将来の様々な課題にも対応できる人間力と健やかな身体を養成する。

＊確かな学力とは、

- ①生きて働く「知識・技能」
- ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」



2 生徒に身につけさせたい力

- (1) 感謝する心、奉仕の精神
- (2) 主体性、挑戦する力
- (3) 確かな学力

3 重点運営事項

- (1) 授業指導力の向上
授業を教科横断的に参観し合い、高め合う「互観授業」の継続的な取組をととして、「主体的・対話的で、深い学び」の実現をめざす。
- (2) 「総合的な探究の時間」の実践
 - ①毎週水曜日6校時、時間割に位置づけ、生徒の探究的な活動を支援指導する。
 - ②令和4年度入学生から順次学年進行で実施する。
 - ③大学並びに専門学校の講師を招聘して実施している「教育連携講座」と関連づけ、探究の高度化を図る。
- (3) ICT教育の推進
 - ①教員の資質・能力の向上
 - ②校内情報環境の整備
 - ③生徒の情報活用能力の育成
- (4) 生徒の自主的な活動の促進
生徒会を発足させ、生徒の責任ある集団活動と主体的な組織を通じて高校生活を一層充実させる。
- (5) 部活動の振興
 - ①強化指定部の実績向上
 - ②一般部活動の加入促進
- (6) 生徒募集の強化
 - ①全教員による中学校訪問の実施
 - ②個別入学相談会の充実
 - ③公立高校の入試改革に積極的に対応する方策の検討

「ノート」

授業、メモ、日記…… いろいろなことに使える「ノート」。今では何気なく購入できるものですが、初めて買ったときのことを皆さんは覚えていますか？

私は、いつ買ってもらったかを正確には覚えていませんが、知らない間に手元にあったような気がします。

「ノート」とは一体何なのでしょう？ 人によって様々な使い方があってと思います。

『広辞苑』には、以下のようにあります。

- ①書きまとめること。また、書きまとめたもの。手記。覚書。
- ②注。注釈。
- ③ノートブックの略。
- ④音符。譜。

私はこの中で、「書きまとめるもの」というところに、本来の「ノート」の意味があると思います。

私がいままで一番衝撃を受けたノートは、元サッカー日本代表の中村俊輔選手のノートです。中村選手は現在43歳ですが、J2の横浜FCに在籍している現役選手です。日本代表では背番号10を付けていた過去もあり、フリーキックを得意とする、とても有名な選手です。そんな中村選手のノートといっても、ただのノートではありません。『夢をかなえるサッカーノート』です。

私がこのノートを見たのは、サッカーに夢中になっていた中学1年生の時です。読書感想文の課題として本を探していたときに見つけました。そのサッカーノートは、「試合に勝つために強い気持ちをコントロールする」方法の一つとして書かれたものでした。中村選手は、高校2年生から15年間もの間に、11冊のノートを使っていたといいます。そのノートには、5つのポイントがありました。

一つ目は、最初のページには目標を書くこと。それも、「短期(半年)」、「中期(1年先)」、「長期(2年以上先)」と、3段階に分けて目標を書いていました。大事な事柄は漠然とではなく、決意表明のような形で書かれています。

二つ目は、辛いときこそ言葉を綴る、ということ。辛いときこそノートを見返すことが多かったそうです。すると、辛いときに記した言葉やトレーニング法は、再度迷路に迷っているときの出口を教えてくれる地図になったそうです。

三つ目は、課題を中心に評価は厳しく。スポーツをする上で一番大切なのは「向上心」だと考えた中村選手は、それを失わないためには自分を過大評価しないことだと、常に自分を戒めていたそ

うです。

四つ目は、頭の中のイメージを図式化すること。言葉だけのノートでは整理が追いつかないこともあります。図式化の方がわかりやすいのであれば図式化する。そうすることで、シーンをイメージしやすくなるそうです。

五つ目は、ノートを「習慣的に」つけること。中村選手のノートには、このような言葉がありました。

「心が変われば行動が変わる

行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人格が変わる

人格が変われば運命が変わる」

アメリカの哲学者、ウィリアム・ジェームズの言葉です。ノートを習慣的につけることにより、強いメンタリティを養えたそうです。

人により、ノートを使う理由は様々ですが、「書き、まとめること」はとても大事であると、中村選手のノートを見て、私は思いました。勉強でも、同じことが言えると思います。ノートの最初には単元名、その単元の目標などを書く。整理しやすいように工夫する。勉強に行き詰まったときにはノートを見返す。常に向上心を見失わずに勉強する。そして、それを毎日サボらずに続けること。生徒の皆さんも、小さな積み重ね一つ一つで「運命」が「変わる」かもしれません。継続して、「向上心」を持って頑張りましょう!!

〔国語科 山岸 雄平〕

六月の法語

ひと見るもよし

ひと見ざるもよし

われは咲くなり

七月の法語

来る人も 来る人も

また福の神

一貫校中学校だより

目標を持とう

生徒の皆さんは進路について、明確な目標を持っていますか。入学前から進路について明確に決めておかなくては、という話をよく聞きますが、それは持てたら良いということで、持っていないからといって心配することはありません。むしろ当然かも知れません。これから得る知識によって目標が変わることはありますし、今までに得ている知識ではまだ量が足りないかも知れませんか。大切なことは、これから考えても十分に間に合うから、慌てる必要はないということです。

さて、私たちが毎日、学校へ持ってきている物や着ている物について考えてみますと、それらを自分で作って持ってきた人は一人もいないと思います。それらの品物は、すべて他の人が作っているのです。自分が必要とする物はすべて他の人が作り、売り、運んできてくれる。そして自分は、得意とする他の分野で社会の手助けをする。これが社会の仕組みです。

進路を決めるということは、その社会の仕組みの中に自分が入っていく場所を探す、という作業です。それぞれの構成員が自分の得意とすることを活かして貢献しているのが、社会の仕組みとして理想的に展開されていることになるのです。自動車を作っている人は、自動車によって様々な活動をしている人を支えていますし、自動車の部品の一部を作っている人も、社会に貢献しているのです。そして社会に貢献するには、多くの広い分野があるのです。それぞれの人が自分の特技を持って参画することが、意識の上からも必要です。参画する意識というのは、社会に役立っている意識をもつことです。この意識がないと、ただ単に経済的に生活するお金を得ているだけとなり、そのような気持ちでは長く勤めることが困難になると思います。

社会に貢献するということをもっと進めてみると、日本のため、あるいは人類のため、ということになります。日本は国土の面積では世界で50番目くらいです。そして、7割くらいは山林であって、地面を掘っても資源は出てきません。食糧自給率は40%ほどであり、エネルギー自給率は4%位しかありません。そんな国

でありながら世界の先進国でいられるのは、奇跡的です。それを支えているのは、高い勤労意欲、高い学問的な能力、高い責任感、真面目さなどです。将来に渡ってこのような地位を保っていくには、本当の意味での勉強が必要になってきます。本当の意味での、と言ったのは、今まで皆さんが学んできた内容は、ある意味では選抜のための手段でしかなく、日本の将来を支えていくための力は、別なものだからです。それは答えが分かっている問題に早く答えられるかということではなく、答えが出ていない問題に、どのように対応して最も適した答えを出すか、という力なのです。このような力を養うための近道は、まだ見つかっていません。ただ言えることは、絶えず努力をすること以外にない、ということです。

次に、目標をもって中学校生活を送る大切さについて考えてみます。樹徳の北の方角に水道山がありますね。登ったことがある人もいると思います。散歩のついでに登る人もいます。しかし、富士山は散歩のついでに登ることはできませんね。登ろうと決めた人でないと登れません。その辺が違います。目標を持たないと頂上までは行けないのです。しかし、水道山に登ろうとする最初の一步も富士山に登ろうとする最初の一步も同じ一步です。違うのは志だけです。同じ一步でも志によって大きく違った結果になります。日々の勉強も同じです。志のない勉強と、志を持った勉強というのは大きな違いになってしまいます。だから、大きく明確な目標をしっかりと持つようにと先生方は言うのです。

目標を持って進む上でさらに必要なことが、自分に勝つ(克己)心を持つということです。勉強でも運動でも、敵と対戦することはほとんどないのです。部活動でも、大きな大会は年に4回くらいしかないのに、毎日練習をしています。練習の方に遙かに多くの時間を費やしているのです。これは自分との戦いです。だから自分に勝つことが、敵に勝つことに通じるのです。勉強もそうです。定期テストは年に6回ですし、人生を左右するような入学試験は何年か後に数回あるだけです。そのために毎日を送るのですから、これも克己の心がないと乗り切れません。すべて克己の精神が求められるのです。

校長 辻村 好一

◆日帰りオリエンテーション

5月12日、1年生が桐生市野外活動センターにて日帰りオリエンテーションを実施しました。

梅田湖を一周するコースのクイズラリーに挑戦し、タイム得点と問題の正解得点を合わせて90点をとった班が優勝しました。

普段の教室を離れ、豊かな自然と触れ合いながら、のびのびと楽しそうに体を動かしていました。

また、普段中々話すことの出来ないクラスメイトと会話をするのができ、学年の絆がより一層深まる機会となりました。



幼稚園だより

◆非認知能力の一つ「自分をコントロールする力」の重要性

知識の量や問題を速く処理する能力等のことを「認知能力」という言い方をすることがあります。一方、「心情・意欲・態度」につながる学びに向かう力や真面目さ、粘り強さ等を「非認知能力」と言います。

近年、この「非認知能力」の研究が世界中で進み、その重要性が言われるようになってきました。過去には、内閣に教育提言を行う教育再生実行会議の中で、非認知能力は幼児教育のキーワードとして議論が進められ、現在の幼稚園教育要領に非認知能力の内容が盛り込まれました。

今回は、今年の1月に行われた冬季研修会の中で、京都大学大学院の森口祐介先生から伺ったお話を簡単に紹介します。その研修テーマは、『子どもの将来を左右する“自分をコントロールする力”』というものでした。

始めは、「自分をコントロールする力」ということで、幼稚園生活の中では頻繁にある、「ちょっと待っててね」とか「〇〇が終わったらね」など保育教諭が子どもの欲求を抑え少しの間辛抱してもらうような場面で必要な「我慢できる力」かと思いました。しかし、森口先生いわく、「自分をコントロールする力」というのは、非認知能力の一つであり、「目標を達成するために自分の欲求や考えをコントロールする能力」であるとのことでした。

そして、それを幼児期に身に付ける重要性を主張しておりました。この力は、幼児期の家庭環境の影響によって、伸びる子もいれば、あまり伸びない子もいるとのことでした。良い影響を与えるのは、親が子どもを褒めるなど豊かなコミュニケーションがある親子関係であり、子どもが自発性や集中力等をもてるような家庭環境だそうです。

保育教諭は親子関係の代わりを担う存在であり、幼稚園は園児が貴重な幼児期を過ごす環境となり



お釈迦様のお誕生を祝った「花祭り」

ます。これからも、子どもたちの話をしっかり聞いたり、思いを受け止めたり、たくさん褒めたりしながら、子どもたちの関心、意欲、自発性、集中力等が高まるような環境構成に努めていきたいと考えます。

◆幼稚園の大事な行事としての

「お誕生会」

樹徳幼稚園では、2か月に1回「お誕生会」を開催いたします。この年6回のお誕生会は、幼稚園の行事の中でも特に大事にされている行事です。今回は、5月13日（金）に4・5月生まれの13名の園児と4名の職員のお誕生日を全員でお祝いしました。

みんなで季節の歌やお誕生日の歌を歌ったり、主役の子どもたち一人一人に、好きな食べ物や大きくなったら何になりたいかななどをインタビューして答えてもらったりして、楽しい時間を過ごしました。

今回は、コロナ感染拡大予防対策のために、内容を縮小したり、ご家族の方1名のみの参加に制限したりしたお誕生会となりましたが、とても心温まるお誕生会となりました。

園長 佐野悦生



令和4年度第70回「入園式」



「お誕生会」でのインタビュー

令和4年度入園児募集中

- ◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。
- ◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名
- ◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。
- ◎お問い合わせは、樹徳幼稚園 佐野まで。 ☎0277-53-5571

桐生市広沢町三丁目4475番地

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder>

6月(正語)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貴 校	幼 稚 園
1	水	更衣 校内安全点検 県校長会	更衣	衣替え 安全点検日 英語・文字(年長)
2	木	月影祭準備 マイトリー基金抛金日	月影祭準備 マイトリー基金抛金日	文字(年中)
3	金	月影祭準備・月影祭前夜祭	月影祭準備	不審者対応避難訓練
4	土	月影祭①	月影祭①	開園日(預かり保育)
5	日	月影祭②	月影祭②	
6	月	月影祭片付け 授業料・校外学習代金納入日	月影祭片付け・大掃除	育英短大教育実習生受け入れ(～6/17)
7	火	6/4振替休日	6/4振替休日	プール開き 読み聞かせ(西山先生)
8	水	6/5振替休日	6/5振替休日	文字(年長)
9	木	歯科検診②		文字(年中)
10	金	前期教育実習オリエンテーション 内科検診③		じゃがいも掘り(全学年) 保育料納入日
11	土	GTEC①		開園日(預かり保育)
12	日			
13	月	LHR 3年生第1回チェックテスト 前期教育実習開始 教育連携講座① 学年主任会③ 検尿予備日 3年J組三者面談～17日	朝礼	リズム(全)
14	火		授業参観	保護者会教養講座
15	水	マナーアップ運動① 教育連携講座②	マナーアップ運動 校内弁論大会	お茶のお稽古②(年長) 英語
16	木	歯科検診③		体育・文字(年中)
17	金	内科検診④ 書写技能検定①		園外保育<昆虫の森(もも・さくら・たけ)・園周辺(すみれ・ひよこ)>
18	土		第2回学校見学会	開園日(預かり保育)
19	日			
20	月	朝礼 教育連携講座③		リズム(全)
21	火			ボール投げ教室②(年中・年長) 読み聞かせ(西山先生)
22	水	大掃除 樹の根の会総会 教育連携講座④		開園記念日のため休園日
23	木	校外学習	歯科講演会 三越アフターサービス	体育・文字(年中)
24	金	関東地区私学保護者連合会理事会(横浜)		教育課程研究協議会①
25	土	1, 2年ベネッセ総合学力テスト 3年ベネッセ総合学力記述模試		開園日(預かり保育)
26	日			
27	月	LHR 教科主任会③	中学朝礼	ひよこ・すみれ組保育参観 リズム(全)
28	火	オーバーコート注文 制服アフターサービス		もも組保育参観
29	水			さくら組保育参観 英語・文字(年長)
30	木	出欠統計提出		たけ組保育参観 体育・文字(年中)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況により予定が変更されることがあります。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

6月、7月の予定はありません。

7月(正業)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	金	求人受付開始 教科書採扱 浄土宗奨学生等募集 マイトリー拠金日 離任地・夏休み行事計画提出 校内安全点検	マイトリー基金拠金日	安全点検日 保護者会幼交連「交通安全教室」
2	土	漢字検定① 1,2年ベネッセ学力テスト/3年ベネッセ記述試験 浄土宗奨学生推薦申請 高P連関東大会実行委員会/総会		開園日(預かり保育)
3	日	英語検定①2次 私学教員適性検査(共愛)		
4	月	学年主任会④(13:15～) 健康診断予備日(桐工) 期末試験(～7日)	高校期末試験(～7日)	リズム(全)
5	火	授業料・第1回諸費納入日	中学期末試験(～7日)	読み聞かせ(西山先生)
6	水			英語・文字(年長)
7	木	野球部壮行会 2年生進路ガイダンス①	ITトラブル防止教室 高校野球部壮行会	七夕まつり(飾り付け) 体育・文字(年中)
8	金	選挙出前授業 中高協会定例会(ラシーネ)	中学3学年保護者会	お誕生会(6・7月生まれ) 保育料納入日
9	土	高校野球夏季大会開幕 数学検定①	中学1・2学年保護者会	開園日(預かり保育)
10	日			
11	月	朝礼 運営委員会②		リズム(全)
12	火		中学校内球技大会	ボール投げ教室(年中・年長)
13	水	薬物乱用防止講演会 教育連携講座⑤ 制服アフターサービス	高校薬物乱用防止講演会 三越アフターサービス	英語・文字(年長)
14	木	歯科検診④		体育・文字(年中)
15	金	担任宛成績提出 一学期出欠締切		読み聞かせ(西山先生)
16	土			開園日(預かり保育)
17	日			
18	月	海の日	海の日	海の日
19	火	一学期出欠統計提出 教務宛成績提出 日私中高連常任理事会		1学期終業式
20	水			夏季休業日(～8/25) お泊まり会① 夏休み預かり保育①
21	木	成績会議(16:00～)		お泊まり会② 夏休み預かり保育②
22	金	終業式・大掃除・学年別一斉指導 3年生河合塾全島共通テスト模試(～24日)	終業式	夏休み預かり保育③
23	土			開園日(預かり保育)
24	日	オープンスクール1		
25	月	生徒夏休み 7/24振替休日	学習支援期間(～29日)	夏休み預かり保育④
26	火		県総合体育大会(～31日)	夏休み預かり保育⑤
27	水	3年生就職ガイダンス②		夏休み預かり保育⑥
28	木			夏休み預かり保育⑦
29	金			夏休み預かり保育⑧
30	土		学校説明会	開園日(預かり保育)
31	日			



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく